研究番号：23075　.

当院で嚥下障害または誤嚥性肺炎で診療を受けたことのある患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に対するご協力のお願い）

獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）や検査結果を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】
術嚥下障害患者における嚥下機能と経口摂取状況の関係性に関する検討

【研究の背景と目的】
嚥下障害は加齢や神経筋疾患などさまざまな原因で生じる症状です。嚥下障害をきたした患者さんに対しては適切な形態や栄養内容の食事を提供することで誤嚥性肺炎の発症や重症化を予防することが可能です。しかし、嚥下障害のある患者さんに対して提供された食事の形態や栄養内容について、嚥下障害の程度との関係性を詳細に調査し、検討した報告はあまりありません。

【対象となる方】
2020/4/1 から 2023/8/31 の期間内に当院で誤嚥性肺炎または嚥下障害で入院での治療を受けた患者さん

【使用する診療情報】
診療記録を用いて「年齢、性別、基礎疾患、嚥下内視鏡検査または嚥下透視造影検査の結果、提供されていた食事内容、誤嚥性肺炎の発症の有無」についてデータを収集します。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】
この研究は当院臨床研究倫理審査委員会からの承認後、病院長の許可日（2023 年 9 月 27 日）から 2024 年 3 月 31 日まで実施され、約 300 名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】
利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】
この研究の研究成果は日本鼻科学会誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】
獨協医科大学埼玉医療センター　耳鼻咽喉頭頸部外科　　教授 田中康広

【問い合わせ先】
獨協医科大学埼玉医療センター　耳鼻咽喉頭頸部外科　　助教 栃木康佑　PHS:1700
埼玉県越谷市南越谷 2-1-50　　電話番号：048-965-8681（医局直通）　　平日 9:00-17:00

以上

2023 年　9 月　11 日作成